

1 今、なぜフィンランド・メソッドか

今回の学習指導要領を方向付けた大きな要素にPISA型読解力テストがある。

PISA型読解力とは、「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発揮させ、効果的に社会に参加するために書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」であるとされている。PISA型読解力テストの結果から国際水準での日本の学力低下がわかった。そこで、PISA型読解力テストの結果で好成績をおさめたフィンランドのメソッドを取り入れ、従来の国語教育の枠組みを見直し、発想の転換を促そうとする動きがある。

2 フィンランドの教科書とは

テキストの種類は、小説、ショートストーリー、詩、伝説、雑誌、新聞、エッセイ、スピーチ、絵、ゲームや修理の説明書、レシート、保証書など様々である。

教科書の目次の「フィンランド国語教科書で学ぶ方々へ」で述べられているフィンランド・メソッドの「五つの力」をあげると①発想力、②論理力、③表現力、④批判的思考力、⑤コミュニケーション力である。

3 演習

(1) フィンランドカルタづくり

カルタづくりからの学力育成は、拡散（連想をつないで、イメージをどんどんふくらませていく）、選択（目的に適合する言葉を選び抜く）、構造化（選んだ言葉を、整理し、関係を明確にして構造化する）である。

クリップについてカルタづくりを行った。



(2) ショウ&テル

A 階段の電気は、上でスイッチを入れても

OK, 下でスイッチを入れてもOK。どういう回路になっているの？

B たんぽぽの花は、夕方に閉じて、次の日には開きます。何のためにそうするの？

AかBのどちらかを選択し、ショウ&テルを行った。

(3) 表現分析

「おいしい牛乳」と「カルシウムと鉄分の多いミルク」のどちらかを選択し、表現分析を行った。分析の視点としては、キーワード、栄養成分、グラフ、製法、パックのしまい方、注意事項、お問い合わせ先などがある。

4 おわりに

遊び心をもって、楽しんでやりましょう。